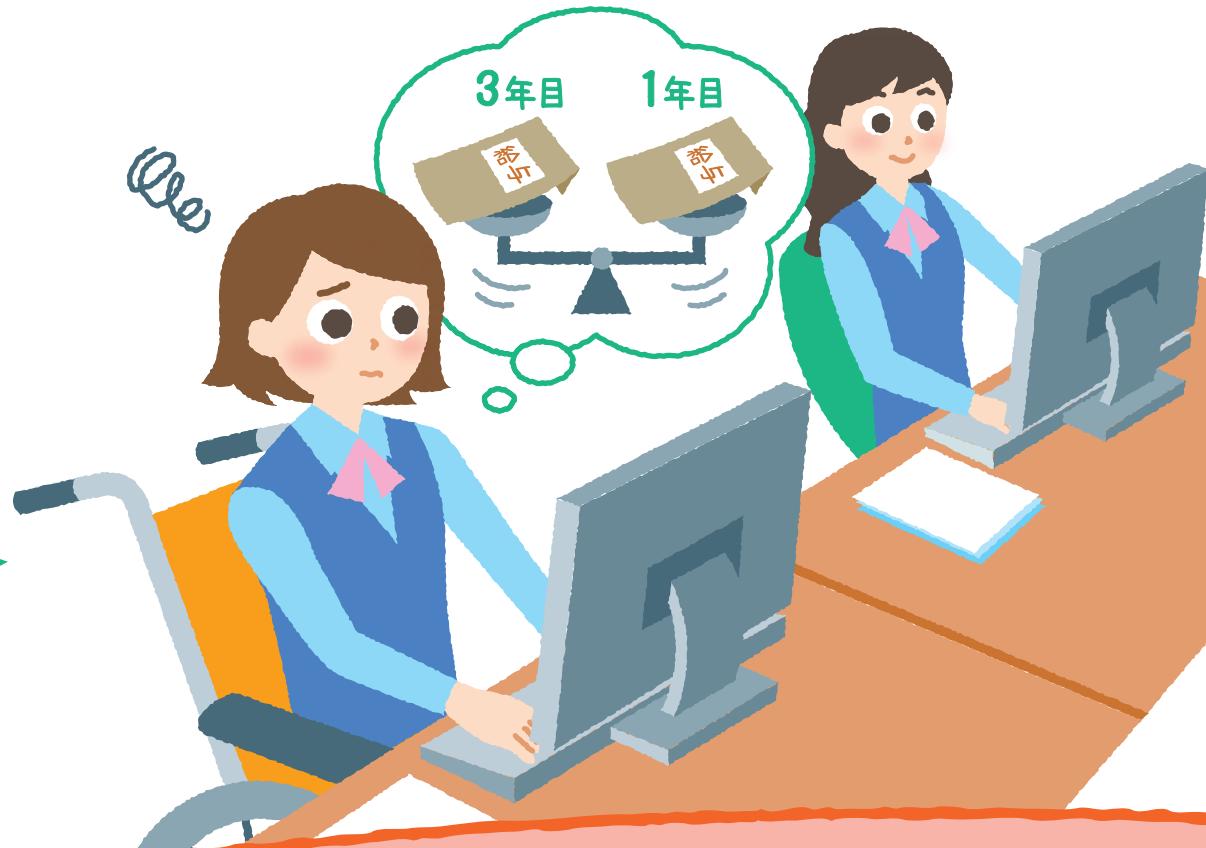


# 職場の相談 あれこれ

多くの人の支援のおかげもあって、仕事に就くことができ、働き出して3年目になります。私には障害があるのですが、障害に負けないで働き続けたいと思っていました。でも、ずっと後から入ってきて、私と同様の仕事をしている障害のない人の初任給に比べて私の給料がかなり安かったり、なんだか、お荷物扱いされているように感じてしまったりしています。日々、不安や不満が募っていきます。このような悩みはどこに相談したらよいのでしょうか。



障害を理由とする差別を受けた場合の相談窓口として、奈良県障害福祉課内に設けています「障害者相談窓口」や民間の「障害者110番ホットラインほほえみ」があります。特に、このような障害者の就業や生活支援については、お住まいの近くにある「障害者就業・生活支援センター」にご相談ください。障害者就業・生活支援センターでは、「働くことを希望している、または今働いている障害のある方」に対し、ハローワーク、福祉施設、会社、医療機関などの関係機関と連携し、仕事や生活についての相談や支援を行っています。奈良県内には、それぞれの地域に5つの障害者就業・生活支援センターがあります。[\(障害者就業・生活支援センターの窓口情報は17ページに記載\)](#)

相談  
窓口

●障害者相談窓口(奈良県障害福祉課内) ..... ☎ 0742-27-8088 ☎ 0742-22-1814

●障害者110番「ホットライン」ほほえみ ..... ☎ 0744-29-0159(電話・FAX共通)

★「障害のある人」の相談窓口については、10ページに掲載

# 犯罪被害者等の相談あれこれ

2年前、私の家に強盗が入り父が刺され重体になりました。いまも父は寝たきりの状態です。その場に居合わせた私は、2年経った今も悪夢にうなされています。恐怖感がぬぐえず、突然、動悸が激しくなったり、眠れない日々が続いたりします。父が働けなくなったため、経済的にも非常に厳しい状態です。ときどき、「私は被害者なのにどうしてこんな思いをしなければならないの?」と叫びたくなることがあります。どうしたら、こんな日々から抜け出せるのでしょうか。



犯罪被害にあった多くの方がこのような悩みや問題を抱え、苦しんでいます。犯罪に遭われた被害者、その家族、遺族が抱える悩みの解決や心のケアを支援するため、いろいろな関係機関があります。例えば「なら犯罪被害者支援センター」という民間のボランティア団体があります。このセンターでは、研修を受けたボランティアの相談員が、親身になって相談に応じる「電話相談」、必要に応じて専門家が「心理相談」、「医療相談」、「法律相談」を実施する「面接相談」、支援活動員が必要に応じて自宅訪問や検察庁・警察署・病院・裁判所等への付き添い支援を行う「直接支援活動」などを実施しています。一人で抱え込まずに相談してみてください。

相談窓口

- 奈良県人権施策課 ..... **0742-27-8726**
- 公益社団法人 なら犯罪被害者支援センター ..... **0742-24-0783**  
**0744-23-0783(中南和相談コーナー)**  
**090-1075-6312(性暴力被害専用電話)**